

各位

News Release

株式会社東洋トランス

シベリアランドブリッジ経由欧州向け LCL(混載)サービス開始！

当社では2017年度より試験輸送を実施し、日欧間の輸送ルートに海上輸送と航空輸送の中間に位置する第三のルートとしてシベリア鉄道を利用した欧州向けルートの確実性を確認しました。その結果を踏まえこの度、従来のモスクワ、ウラジオストク向けの混載サービスに加えて 2021年1月中旬より日本発のシベリアランドブリッジ経由の欧州向け LCL(混載)サービスを開始し、皆様に安定した新たな輸送ルートをご提供いたします。

【輸送行程】

富山伏木港 — ウラジオストク港/駅 — モスクワ近郊編成駅 — ブレスト駅 (ベラルーシ) — マラセヴィッチ駅 (ポーランド) — クトノ駅 (ポーランド) — ポズナン CFS (ポーランド)

【日本側 CFS】

東京、名古屋、神戸、富山(伏木)

※シベリアランドブリッジルートのスピードを生かす為、東京、名古屋、神戸でお受けし、富山(伏木)CFSでコンテナ詰めをした後本船積みを行います。

【海上輸送区間】

富山伏木港からロシア極東ウラジオストク港 (富山伏木港は隔週の毎木曜)

【鉄道輸送区間】

ウラジオストク駅から毎日運行しているモスクワ向けブロックトレインでモスクワ近郊の編成駅まで輸送 (ベカソボ駅その他)、同駅で欧州向け列車に接続 (欧州向け列車は毎日運行) してベラルーシとポーランドのベラルーシ側の国境駅であるブレスト駅まで輸送。

ブレスト駅ではロシア・ベラルーシ鉄道軌道 1,520 mm の貨車から欧州鉄道軌道 1,435 mm の貨車にコンテナを載せ替え。その後ポーランド側の国境駅マラセヴィッチ駅を経由しクトノ駅に輸送。

【トラック輸送区間】

クトノ駅からポズナン CFS

